

富山の高校生が南アフリカへ「学び」のバトンを繋ぐ

自主プロジェクトにより集まった英語児童書が現地に到着、子どもたちのもとへ

南アフリカの初等教育支援を行う特定非営利活動法人 SAPESI-Japan（所在地：東京都港区、理事長：池澤憲一、以下「SAPESI-Japan」）は、富山県内の高校生が自主的に企画・実施した「英語児童書寄贈プロジェクト」において、日本から発送された書籍が南アフリカ共和国・東ケープ州へ無事に到着したことをお知らせいたします。



（発起人の学生と寄贈書籍。この度は本当にありがとうございました！）

■プロジェクトの背景：一人の生徒の行動が学校全体、そして海を越えた支援へ

当プロジェクトは、富山県内の高等学校に通う女子生徒（当時）が「世界の教育格差を少しでも埋めたい」という強い思いから、自主的に立ち上げたものです。

発起人である生徒は、自ら企画書を作成して学校側に協力を依頼。生徒会メンバーと共に校内での呼びかけを行い、家庭で使われなくなった英語の絵本や児童書の回収、および輸送費をまかなうための募金活動を精力的に実施しました。

その結果、短期間で約250冊の書籍と、42,000円以上の寄付金が集まりました。生徒たちの「自分たちにできることは何か」という真摯な姿勢が、多くの共感を呼び、今回の寄贈へと繋がりました。

■寄贈の概要と現地の状況

当プロジェクトで集められた書籍は、南アフリカに無事到着し、東ケープ州の中心都市ポートエリザベスにある州教育省へ寄贈されました。寄贈先では、移動図書館車が導入されているものの、車内に搭載する書籍が不足しており、十分に稼働できていないという課題がありました。今回の寄贈は、こうした現場のニーズに直接応えるものとなります。



寄贈先の現地スタッフの方からは「遠い日本の高校生の方が南アフリカの子どものことを考えているのがとても嬉しく、自分たちにとっても本当に励みになった」という声が寄せられました。日本の高校生から届けられた彩り豊かな絵本は、子どもたちの識字率向上や読解力の育成に大きく寄与することが期待されています。

■SAPESI-Japan 理事長 池澤憲一のコメント

日本の若い世代が、自ら課題を見つけ出し、具体的なアクションへと繋げた今回のプロジェクトに深い感銘を受けています。一人の高校生の想いから始まったこの活動は、南アフリカの子どもたちにとって知識の扉を開く大きな一歩となります。ご協力いただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

■「南アフリカ移動図書館車プロジェクト」について

図書が不足している南アフリカの子どもたちに、日本で役目を終えた中古の移動図書館車を寄贈し、読書の機会を提供することで教育支援を行う活動です。2008年の設立以来、日本各地の自治体から譲り受けた車両を海上輸送し、現地の教育省と連携して運用しています。

■ 団体概要

- 名称：特定非営利活動法人 SAPESI-Japan (南アフリカ初等教育支援の会)
- 所在地：東京都港区浜松町2-2-15 浜松町ダイヤビル2F
- 代表者：理事長 池澤憲一
- 設立：2008年12月
- 事業内容：南アフリカ共和国への移動図書館車の寄贈および教育支援事業
- URL：<https://www.sapesi-japan.org/>

【本件に関するお問い合わせ先】

特定非営利活動法人 SAPESI-Japan 事務局

E-mail：info@sapesi-japan.org

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000016.000145721.html>

特定非営利活動法人 SAPESI-Japanのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchr/p/company_id/145721

問い合わせ先：

NPO法人SAPESI-Japan／南アフリカ初等教育支援の会

Website: www.sapesi-japan.org

E-mail: info@sapesi-japan.org